

▼豊富な史料と解説で新津の
あゆみを紹介した内容例 ▶

昭和五十七年四月から始まった市史編さん事業は、市民の皆さんのご協力によって順調に進み、このたび、『新津市史』全八巻のうち、『新津市史』第四巻(近現代一)を刊行することになりました。

『新津市史』は、総合的な視点で幅広く資料の調査・収集が行われており、新津の歴史を大成したものに なっています。私たちの郷



新瀬橋の完成を祝い、渡り初め

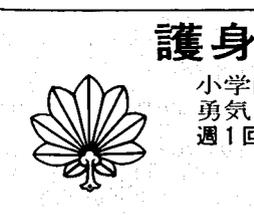
市之瀬と新潟市の嘉瀬を結ぶ新瀬橋が完成し、10月28日、地元の人たちが多数参加されるなかで渡り初めが行われました。

同橋は、長さが約451m、幅が約8mで、このうち1.6mが歩道になっています。

なお、総工費は10億3000万円、新津市の負担分は4300万円でした。

■十七日の午前九時～正午
●新町一の一部 ■十九日の午前九時～正午
●梅ノ木、小屋場の各一部 ■二十七日の午前八時三十分～正午
●本町一の一部

停電お知らせ



やわら柔術健康道場

昭和五十七年四月から始まった市史編さん事業は、市民の皆さんのご協力によって順調に進み、このたび、『新津市史』全八巻のうち、『新津市史』第四巻(近現代一)を刊行することになりました。

『新津市史』は、総合的な視点で幅広く資料の調査・収集が行われており、新津の歴史を大成したものに なっています。私たちの郷

『市史』の発刊予定

◎昭和62年11月	資料編第二巻	近世一
◎昭和63年6月	資料編第一巻	原始・古代・中世
◎昭和63年11月	資料編第六巻	民俗・文化財
◎昭和64年6月	資料編第三巻	近世二
◎昭和64年11月	資料編第五巻	近現代二
◎昭和65年11月	通史編上巻	
◎昭和66年6月	通史編下巻	

資料編第四巻の体裁は、A5判、約千六で、一部四千五百円です。限定出版ですから、お早めにお申し込みください。

□申込み先：市史編さん室 (☎24-15599)、または図書館 (☎22-10097)へ

十二月最初の法律相談の日程は、次のとおりです。そのほかの日程については、次号でお知らせします。

□とき：五日の午後一時～四時(勝見洋人弁護士担当)

□ところ：市役所会議室

□相談したい人は、あらかじめ市役所市民課(☎24-12111内線2000)へお申し込みください。

お買物、ご用命は市内で



新津の歴史を大成した「新津市史」は全8巻

『新津市史』を美刊

配本 第一回 資料編第四巻 近現代一

昭和五十七年の四月から始まった市史編さん事業は、市民の皆さんのご協力によって順調に進み、このたび、『新津市史』全八巻のうち、『新津市史』第四巻(近現代一)を刊行することになりました。

『新津市史』は、総合的な視点で幅広く資料の調査・収集が行われており、新津の歴史を大成したものに なっています。私たちの郷

今回刊行される資料編第四巻は、明治期の史料が収録されており、明治維新期の新津のようすや、石油や鉄道によって築かれた発展の基礎など、新津のあゆみを三百二十点余りの史料と

「新津」を考えるために、ぜひ、ご購読ください。

資料編第四巻は明治期の史料を収録

資料編第四巻の主な内容

第1編	明治維新期の新津
第1章	維新期の動向
第2章	地租改正
第3章	大小区制と戸長役場
第4章	近代教育の始まり
第2編	明治時代の新津
第1章	郡区町村制下の地方自治
第2章	市制・町村制の施行と地方自治の発展
第3章	皇国地誌
第4章	産業経済の成長
第5章	新津の石油
第6章	洪水と大火
第7章	病院と衛生
第8章	交通の発達
第9章	教育と文化
第10章	徴兵と戦争
第11章	新津の神社と寺院

解説によって明らかになっています。史料は項目別に分類され、編・章・節に構成されています。章の分類は右の表のとおりです。

□頒布：十二月一日から図書館で現金引換えてお渡しします。

十二月最初の法律相談の日程は、次のとおりです。そのほかの日程については、次号でお知らせします。

□とき：五日の午後一時～四時(勝見洋人弁護士担当)

□ところ：市役所会議室

□相談したい人は、あらかじめ市役所市民課(☎24-12111内線2000)へお申し込みください。

護身と長寿若返りの妙技

小学四年以上の男女百歳でも少々体の不自由な方でも大丈夫
勇気と自信と健康を求められよ
週1回くらいが最適 水・金夜7時～9時まで 日曜日午後2時～4時まで

やわら柔術健康道場

新津市結(バス停前) 道場 古 峰 院 ☎24-0470
白宅連絡所 食堂 吉 乃 屋 ☎22-1058
五狼道場 緑町 的 原 工場内 ☎42-0336